

育成だより

第49号

令和2年3月10日

貝塚中学校区

青少年育成委員会

つながる想い

北貝塚小学校 教務主任 生川 稔倫

北貝塚小学校の学校目標には「学校に誇りを 地域に愛着を」とあります。六年生にはこの目標のもと、日々の活動を行っています。

四月には、入学した一年生が学校生活に早くになれるように朝の準備から給食、掃除の手伝いを行います。休み時間には外で一緒に遊んであげます。これは、最初こそペア学年として割り振られた学級にお手伝いに行く程度ですが、その後の、サツマイモの苗植えや、全校遠足、ロング昼休みにおいてのなかよし遊びを通して、一年生と担当でない日も意欲的に関わろうとする児童が増えました。六年生から優しさをたくさんもらった一年生は、一二月の幼児小の連携において、学校に来た就学予定の児童に対し、自分たちが六年生にしてもらったように優しく接することができました。

この六年生から一年生への優しさは、どの学年から見ても素晴らしいものであり、六年生への尊敬の念が深まります。ですから、二月に行われる送る会においては、六年生への感謝の思いを伝えたいと、どの学年も一生懸命に練習します。特に五年生は会の企画運営を行い、休み時間にも惜しまず準備を行います。たくさんの方の活動においても中心にいた六年生の姿は、どの児童にもまぶしい存在として残り、次の学年への道標として毎年繋がっていきます。

児童が、このように学校生活において生き生きと過ごすことができるのも、地域の皆様との



関わりがあつてこそです。次年度も地域の一員として、学校の一員として、北貝塚小学校の児童は活動していくことでしょう。四月からも児童の成長にご協力をお願いします。

地域の人材や施設を生かした教育活動

桜木小学校 教務主任 湯山 修一

小学校では、地域の人や施設とふれ合う学習を計画し、教育活動を進めてきました。その一端を紹介します。

二年生は、生活科の学習で、町探検に出かけました。公民館や交番、店などの学区内にある施設にご協力いただき、子どもたちが訪れて、どんな場所なのか、どんな仕事をしているのかを調べました。学習を通して、地域の方とふれ合い、桜木の町のよさに気付いていました。

三年生は、総合的な学習の時間で、桜木の町について調べました。身近な遊び場所にもなっている妙見宮を訪れ、氏子の方々に神社の由来や、「三角神社」と呼ばれる理由を伺いました。また、本校の伝統行事である「桜木つ子まつり」に草創期から携わっている方や、現在中心になって運営してくださっている方や、現在中心になって運営してくださっている方など、思いや願いに触れ、こんな思いで活動しているのかなどを伺いました。思いや願いに触れ、これからのまつりを大事にしていこうという気持ちが高まりました。

五年生は、植草学園大学の協力のもと、「縄文オペラ」を創作し、発表しました。昨年度に続き二年目の今年は、「現代」をテーマに、加曽利貝塚がどのように守られ、特別史跡指定へと至ったのかを調べ、劇にまとめました。多くの人の努力で遺跡が守られてきたことに気付き、一層愛着をもちました。

これらの活動はすべて、地域や保護者の皆様のご理解とご協力が必要不可欠なものばかりです。ありがとうございました。

感染症予防のために臨時休校になった期間も、学校に来る子どもたちのために、登校時間に道に立ってくださるセーフティウォッチャーさんにもいらっしやいました。子どもたちが地域の皆様に見守られていてることを、改めて強く感じています。

来年度も、地域の皆様とふれ合う活動を通して、人を思いやる心



や、優しい気持ちを育む教育活動を展開していきたいと考えています。



2学年「総合的な学習」より

「職場体験学習」を終えて

貝塚中学校 教務主任 青山淳一

6月25日（火）～27日（木）の3日間、今年も職場体験学習が実施されました。年度当初から体験を希望する職種を踏まえ、事業所を探すことから始め、学校から依頼をしたものを含めると約70箇所の事業所にご協力をいただきました。今年は2月に自然教室が控えていたため、例年行っていた11月ではなく、早めの実施となり学区・事業所等にはご迷惑をおかけしましたが、早く本校の生徒を受け入れて下さり、感謝致します。生成とは働くことの意義や大変さ、また、学校と地域の連携という視点から多くのことを学べた有意義な体験活動になりました。生徒の報告書からは、「職場体験を通して、コミュニケーションがどの場面

でも大事であることを感じた」「相手のために働くということの大切さや、働くことで得ることがあるということ。今後の自分の進路についても考えることができた」「お客さんに笑顔で接すると相手の方も笑顔で接してくれて、やる気になった。周りの人が笑顔になってもらえる仕事に将来就きたいと思った」など、体験学習を通して多くのことを学ぶことができました。



受け入れて頂いた事業所の皆様、
ありがとうございました。

環境・非行対策部

樋口 正志

二〇一九年度「環境・非行対策部」の活動に関し、計画に基づき、次のとおり実施いたしましたので報告いたします。

一 六月二十九日（土）

前期 地域ぐるみ一斉点検パトロール

二 七月中旬から八月中旬 夏祭防犯巡回パトロール

三 十二月七日（土）

後期 地域ぐるみ一斉点検パトロール

四 その他 夜間等における地域巡視

地域ぐるみ一斉パトロールについては、三校の先生方をはじめ、PTA、協力会、青少年補導員、民生委員、並びに各自治会役員など、多くの皆様にご協力いただき、計画どおり実施することができました。校区内を七つのコースに分け、

① 非行の発生度合いが高いと想定される場所の発見と対策

② 通学路の点検と問題点の有無の確認

③ 各種店舗（カラオケボックス、コンビニエンスストア、インターネットカフェ等）の巡回と現況の確認

④ 青少年に有害な野外広告・ビラの撤去依頼

⑤ 通学路における老朽化等した施設の確認

⑥ 廃棄物不法投棄・ゴミの放置状況等の確認

などの観点から巡回し、各コースから有益な報告をいただきました。

夏祭防犯巡回パトロールについては、子供達の見守りを目的とし、警察の協力を仰ぎながら、校区内の町内自治会等が主催する夏祭会場の巡回を実施いたしました。

次に、その他の活動については、部長、副部长を中心にそれぞれ個別に、主に夜間の地域巡視を実施いたしました。関係者の皆様におかれましては、環境・非行対策部の活動にご協力いただきましたことに對し、この場をお借りし、心より御礼申し上げます。

二〇二〇年度は、皆様のご意見に基づき、一斉パトロールのコースに関し、施設名称の正確性確認および巡回ルートの一部見直し等をはかり、ご協力いただく皆様が実施しやすい環境を整えていく予定でございます。

最後に、昨今、いじめ、児童虐待、ウイルス感染等子供達に関わる悲しく痛ましい事件・事故が報道されております。我々大人

が、今一度原点に立ち返り、いかに子供達が生活しやすい環境を作っているかという観点から、さらなる解決策を模索していく必要があると考えます。貝塚中学校区青少年育成委員会としても、情報共有をはかりつつ、地域との一体感を醸成し、改善に取り組んでいければと切に思うところであります。皆様、引き続きご尽力賜りますようお願いいたします。

福祉・交通安全部

中畑 稔

今年度も昨年同様年間計画に基づき、新学期の始まる四月五日、夏休み明けの九月二日～六日、正月明けの一月六日～十日の間、部会員の皆様のご協力によりまして、それぞれの通学路におきまして児童の交通安全の指導を行いました。

① 北貝塚小学校付近の交差点

② 千葉信用金庫桜木支店前五十一号線の横断歩道

③ 高麗商店十字路より貝塚中まで

の通学路等の三か所で、特に交通の激しい交差点や、また坂道のためスピードの出ている車が多く危険を感じること等、児童たちの安全を確保するべく見守りを行ってまいりました。場所によっては中学生、小学生の行きかき重なるところでは児童同士で注意しあう様子が頼もしく思われました。

また、指導員に対しても元氣よく挨拶もされており、頼もしく感じました。

新年度も引き続き安全指導を行ってまいりたいと思っておりますので、皆様のご協力お願いいたします。

健全育成部

東田 日出夫

健全育成部では、昨年度に引き続き今年度も浴衣着付け講習会の開催を企画しました。しかし、残念ながら参加申し込みが無く、中止となりました。来年度は、開催時期や開催方法などを見直して、参加しやすい企画にしたいと思います。

また、二月八日から二月二十四日の期間、恒例の書き初め展示会を行いました。桜木公民館には桜木小学校六年生の作品、都賀コミュニ

ティーセンタ―には北貝塚小学校六年生の作品と貝塚中学校の入賞者の作品を展示しました。どの作品も力強くのびのびとした作品で、子供たちが真剣に取り組んでいる姿が目に見え、展示会を見に会場に足を運んでくださった皆様、ありがとうございました。

来年度も子供たちの健全育成のための企画を計画していきたいと思っておりますので、ご協力お願いいたします。

レクレーション部二〇一九

嶋田政昭

レクレーション部ではここ数年、主に三つの活動をしています。

まず九月二十八日(土)に研修旅行を行い、今年度は筑波にあるJAXA宇宙センタ―と牛久の大仏へ行きました。実物大のロケットなどもあり、スケールの大きさと日本の宇宙科学技術の高さに驚きました。

そして十月十九日(土)に貝塚中バザ―があり、「ストラックアウト」のゲームとコーヒーやココアなどを提供する「飲食コーナー」で参加しました。百名を超える小中学生の子ども達が集って盛況でした。

年が明けて二月一日(土)にボーリング大会を行いました。校長先生や教頭先生方も応援にかけつけていただき六十一名の参加で、三校の先生方も二十二名と多数参加していただき、ストライクやガ―ターに一喜一憂しながらも、楽しいひとときを過ごしました。

☆表彰おめでとうございます☆

青少年健全育成成功労者表彰
九月二十一日(土)

生涯学習センタ―にて

全国保護司連盟理事長表彰
十一月二十一日(木)

千葉県文化会館にて

前島 孝夫 様
本間 澄江 様
浜田 弥栄 様

戸村 聡 様

貝塚中協力の会の活動報告

貝塚中協力の会 会長 東田 日出夫

私たち貝塚中協力の会が活動を始めてから二十二年が経ちました。現役の保護者以外にも貝塚中卒業生やその保護者などが参加しているボランティア組織です。月に一回の定例活動では学校環境の美化作業として校内の草刈作業を行いました。

体育祭では、安全に開催できるように会場のパトロール、入場門の警備を行いました。

恒例の夏休みデイキャンプは、残念ながら参加希望者が少なく昨年度に続き中止となりました。来年度は子供達と楽しい時間を過ごせることを期待します。

バザ―では模擬店を出店しお餅、焼き鳥、フライドポテトを提供しました。今年は近隣の自治会長や協力の会委員の知人にもご協力いただきました。ありがとうございました。

今年度は、三名の現役の保護者の方が会員になってくださいました。定例活動は毎月第三土曜日の十時〜十二時に行っています。興味のある方は是非一度学校に見に来てください。

世界中に広がる新型コロナウイルス禍(COVID-19)の中、学校を含め子供達の学習・生活にも大きく影響をうけています。そんな中、テレビ・インターネットでは、大人達がマスクのことで喧嘩をし、デマ報道でトイレトーパーを買って右往左往しております。五十歳代以上の大人はオイルショックでトイレットペーパー騒動を経験しているし、今はインターネットでのフェイクニュースが蔓延していることは理解しているはずなのですが、人間というものは非情に不安定な生き物だとなつくづく感じます。こんな姿を子供達に見せない気持ちを持ちたいです。

広報部 前島 孝夫